

Lychee Redmine インストール手順書

Ver.1.0(20250321)

目次

1. はじめに.....	3
注意事項	3
2. Lychee Redmine をインストールする前に.....	5
2-1. Redmine のインストール	5
2-2. バックアップの作成	5
2-2-1. Redmine インストールパス全体	5
2-2-2. データベースのバックアップ	5
2-3. (Linux のみ)Lychee Redmine 依存ライブラリのインストール	6
2-4. Lychee Redmine 最新版モジュールの入手	6
3. Lychee Redmine の新規インストール	7
Lychee Redmine のインストール(買取ライセンス)	7
インストールの流れ	7
rgloader の配置	7
Lychee Redmine の配置	8
(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更	8
インストールの実施	8
(Linux のみ)ファイル所有者の再変更	9
Redmine を再起動する	9
インストールの確認	9
インストール後の作業	10
Lychee Redmine のインストール(年間ライセンス)	11
インストールの流れ	11
ライセンス登録	11
Lychee Redmine のインストール	13
4. Lychee Redmine の評価版からの移行	16
評価版から製品版ライセンス(年間/買取)への移行の流れ	16
評価版 Lychee Redmine のアンインストール	16
評価版のライセンス認証情報の更新	18
全ての Lychee Redmine プラグインの移動	19
製品版 Lychee Redmine のインストール	19
rgloader の配置	19
Lychee Redmine の配置	20
(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更	20
インストールの実施	20

(Linux のみ)ファイル所有者の再変更	21
Redmine の再起動	21
インストールの確認	21
インストール後の作業	22
5. インストール後の作業	23
Lychee ガントチャート チケットステータスの表示色設定	23
Lychee IssueForm チケット更新時のメール通知設定	23
Lychee EVM スナップショット作成 (ビジネス/プレミアムの方のみ)	23
Lychee CCPM フィーバーチャートの期日の自動更新の設定 (ビジネス/プレミアムの方のみ)	24
Lychee CCPM フィーバーチャートの描画データの生成設定 (ビジネス/プレミアムの方のみ)	24
Lychee タイムマネジメント 予定の実績変換方法 (ビジネス/プレミアムの方のみ)	25
Lychee プロジェクトレポート 集計データの生成設定 (ビジネスの方のみ)	25
6. トラブルが発生した場合	27
問題があった際にまず確認すべきこと	27
Lychee Redmine のプラグインファイルが正しく (入れ子構造ではなく) 配置されていますか？	27
Redmine のバージョンは Lychee Redmine が対応しているバージョンですか？	28
トラブルシューティング	28
Windows 環境でインストール実行中に警告が表示される	28
Linux 環境で Permission denied エラーが発生する	29
GUI でライセンス認証が上手くいかない	29
解決しない場合	30

1. はじめに

本書は Lychee Redmine の新規インストール手順を記載した手順書となります。ここではインストール時の注意事項について記載いたします。

注意事項

- 本書を作成した時点の Redmine と Lychee Redmine のバージョンは以下の通りです。

Redmine		5.1.4
Lychee Redmine	alm	1.7.20
	lac	1.6.12
	lad	1.18.15
	levm	3.2.19
	lgc	4.10.37
	lgc_pro	4.10.37
	lpt	1.4.18
	lrm	2.6.11
	lychee_ccpm	1.0.25
	lychee_checklist	1.0.4
	lychee_cost	1.1.24
	lychee_custom_field	1.4.21
	lychee_easy_assigned_user	1.1.10
	lychee_gantt_chart	5.0.19-pre-alpha
	lychee_groups	1.0.5
	lychee_help	1.2.2
	lychee_issue_form	1.0.14
	lychee_issue_set	1.11.7
	lychee_issue_spread_sheet	1.2.12
	lychee_issues_evm	3.2.19
	lychee_kanban	4.7.0
	lychee_manufacturing	1.0.7
	lychee_message_box	1.2.17
	lychee_notification	1.0.12
	lychee_profile_icon	1.2.9
	lychee_project_dashboard	1.3.3
	lychee_project_report	2.7.4
	lychee_project_term	1.0.9
	lychee_project_view	1.7.13
	lychee_remaining_estimate	1.1.12
lychee_saml_auth	1.3.4	
lychee_status_color	1.1.7	

	lychee_themes	1.0.11
	lychee_time_management	3.2.15
	lychee_version_start_date	1.1.10
	lychee_work_plan	3.2.15
	lychee_workdays	1.2.12

- Lychee Redmine の動作環境は以下のページをご確認ください。

<https://lychee-redmine.jp/environment/>

- ご利用されている Lychee Redmine や Redmine のバージョンによっては、個別でコマンドの実行が必要になる場合があるため、事前に以下のページの重要なお知らせをご確認ください。

<https://www.techmatrix.co.jp/secure/quality/lychee/support/notices.html>

- Redmine をインストールしたパスは、インストールの方法やサーバーの OS によって異なります。本書では[Redmine インストールパス]と記載しておりますので実際のインストールパスに読み替えてください。

2. Lychee Redmine をインストールする前に

ここでは Lychee Redmine のインストール前に行う作業について記載します。

2-1. Redmine のインストール

本手順書では Redmine がインストールされていることを前提として、Lychee Redmine をインストールする手順を記載しています。以下ページの「Redmine / Ruby のバージョン」を参照の上、Lychee Redmine が対応している Redmine のバージョンをインストールしてください。

<https://lychee-redmine.jp/environment/>

2-2. バックアップの作成

既に Redmine を利用し、チケットなどのデータが存在する場合、Lychee Redmine のインストール前に必ずバックアップを作成してください。

2-2-1. Redmine インストールパス全体

[Redmine インストールパス]を丸ごとコピーするなどしてバックアップを作成します。

2-2-2. データベースのバックアップ

MySQL を使用している場合

mysqldump コマンドを実行し、データベースのダンプデータを取得します。

DB ユーザー名、DB パスワード、Redmine データベース名は[Redmine インストールパス]/config/database.yml 内の username, password, database を参照ください。

```
mysqldump -u [DB ユーザー名] -p [Redmine データベース名] > [データ出力先ファイル名]
```

※コマンド実行後に DB パスワードの入力が求められます。

PostgreSQL を使用している場合

pg_dump コマンドを実行し、データベースのダンプデータを取得します。

DB ユーザー名、DB パスワード、ホスト名、Redmine データベース名は[Redmine インストールパス]/config/database.yml 内の username, password, host, database を参照ください。

```
pg_dump -U [DB ユーザー名] -h [ホスト名] -Fc --file=[ダンプデータファイル名] [Redmine データベース名]
```

※コマンド実行後に DB パスワードの入力が求められます。

※PostgreSQL のインストールの構成や設定内容によっては、ホスト名は不要なことがあります。

SQLite を使用している場合

SQLite のデータベースファイル([Redmine インストールパス]/config/database.yml 内の database で指定されているファイル)をコピーしてください。

2-3. (Linux のみ)Lychee Redmine 依存ライブラリのインストール

Lychee Redmine は PDF 印刷や画像処理で以下のツールを利用しています。

- wkhtmltopdf (<https://wkhtmltopdf.org/>)
- ImageMagick (<https://imagemagick.org/>)

そのため上記ツールが依存する libjpeg や fontconfig といったライブラリを事前にインストールしておく必要があります。なお、ライブラリの実名やインストール方法はディストリビューションやバージョンによって異なる可能性があります。

Ubuntu でのコマンド実行例：

```
sudo apt update && sudo apt install -y libjpeg62 libfontconfig-dev
```

2-4. Lychee Redmine 最新版モジュールの入手

Lychee Redmine と rgloader の最新バージョンを入手します。ご購入時にお送りしたライセンス証書にお客様専用のモジュールダウンロード用 URL が記載されていますので、そちらからダウンロードください。ご不明な場合はご案内しますので、弊社のサポート窓口まで以下の情報を添えてご連絡ください。(Lychee Redmine テクニカルサポートセンター)

【ユーザー登録情報】

- ユーザー登録番号：
- 会社名：
- 部署名：
- お名前：
- 電話番号：
- E-MAIL：

【保守サービスの情報】

- 証書番号：
- 対象製品の製品番号：

3. Lychee Redmine の新規インストール

ここでは Lychee Redmine の新規インストール手順を記載します。年間ライセンスと買取ライセンスで手順が異なりますので購入された側の手順を参照ください。

Lychee Redmine のインストール(買取ライセンス)

インストールの流れ

買取ライセンスのインストールは以下の流れで行います。



rgloader の配置

入手した最新の rgloader.zip を展開し、[Redmine インストールパス]以下に配置します。[Redmine インストールパス]/rgloader 以下に loader.rb 等のファイルが展開されているのが正しい状態です。

Lychee Redmine の配置

入手した最新の Lychee Redmine を展開し、[Redmine インストールパス]/plugins 以下に配置します。

以下のプラグインについては関連するモジュールごとにフォルダが構成されており、フォルダ内にプラグインファイルが格納されています。それらのファイルについては「/plugins」ディレクトリに並列に配置しなければなりません。

- lgc
- levm
- lychee_basic
- lychee_ccpm
- lychee_time_management

例えば lychee_basic の場合、lychee_basic フォルダではなくフォルダ内にある lychee_checklist 等のフォルダを plugins 以下に配置する必要があります。

lychee_basic の配置例 :

```
<Redmine インストールパス>/plugins/alm
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_checklist
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_easy_assigned_user
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_help
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_form
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_spread_sheet
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_notification
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_profile_icon
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_dashboard
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_term
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_view
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_status_color
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_themes
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_version_start_date
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_workdays
```

(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更

1. 以下のコマンドを実行し、ファイル所有者を確認します。

```
ls -la [Redmine インストールパス]
```

2. 確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

インストールの実施

1. 以下のコマンドを実行し、Redmine のインストールパスに移動します。

```
cd [Redmine インストールパス]
```

2. 以下のコマンドを実行し、必要なライブラリのインストールを行います。

Linux の場合 :

```
sudo bundle config set --local without 'development test'
```

```
sudo bundle install
```

Windows の場合 :

```
bundle config set --local without 'development test'  
bundle install
```

3. 続けて以下のコマンドを実行し、プラグインの DB とリソースファイルのセットアップを行います。

Linux の場合 :

```
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rake redmine:plugins RAILS_ENV=production
```

※実行した結果については一見すると成功したかどうか分からない場合もあるため、コマンド実行の出力結果をテキストファイルに保存しておくことを推奨します。トラブル発生時の調査に必要となります。

(Linux のみ)ファイル所有者の再変更

バージョンアップ時に新規ファイルが作成されるケースがあるため、前述の手順で確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を再度変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

Redmine を再起動する

Redmine を再起動します。これはインストール方法や OS によって異なります。例えば Windows で OS のサービスに Redmine を登録している場合は、Redmine サービスを再起動してください。Linux で Apache を経由して Redmine を起動している場合は Apache を再起動してください。

インストールの確認

インストールが完了したら Redmine にアクセスします。Redmine の[管理]メニューから[プラグイン]を開き、Lychee Redmine プラグインがインストールされているか確認します。

プラグイン

名称 / 説明	作成者	バージョン	
Agileware License Manager This is a plugin for Lychee Redmine License Management http://lychee-redmine.jp	Agileware Inc.	1.7.20	
Lychee Association Chart plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/association-chart	Agileware Inc.	1.6.12	
Lychee Actual Date plugin This is a plugin for Redmine. add actual date(start/due) pair http://lychee-redmine.jp/actual-date.html	Agileware Inc.	1.18.15	
Lychee EVM plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/evm	Agileware Inc.	3.2.20	設定
Lychee Gantt Chart plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart http://lychee-redmine.jp/gantt-chart.html	Agileware inc.	4.10.37	設定
Lychee Gantt Chart Pro plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart	Agileware inc.	4.10.37	

インストール後の作業

インストールが完了しましたら、本書の「5. インストール後の作業」を参照の上、記載の手順を実施ください。

Lychee Redmine のインストール(年間ライセンス)

インストールの流れ

年間ライセンスのインストールは以下のように「ライセンス登録」と「Lychee Redmine のインストール」の二段階に分けて行います。

1. ライセンス登録

rgloader・ライセンス管理プラグインモジュールの配置

インストールコマンドの実行

Redmine 再起動

ライセンス登録

2. Lychee Redmine のインストール

Lychee Redmine プラグインモジュールの配置

インストールコマンドの実行

Redmine 再起動

インストール確認

ライセンス登録

rgloader の配置

入手した最新の rgloader.zip を展開し、[Redmine インストールパス]以下に配置します。[Redmine インストールパス]/rgloader 以下に loader.rb 等のファイルが展開されているのが正しい状態です。

ライセンス管理プラグインの配置

入手した最新の lychee_basic.zip を展開し、「alm」のみを取り出し、[Redmine インストールパス]/plugins 以下に配置します。

(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更

1. 以下のコマンドを実行し、ファイル所有者を確認します。

```
ls -la [Redmine インストールパス]
```

2. 確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

ライセンス管理プラグインのインストール

1. 以下のコマンドを実行し、Redmine のインストールパスに移動します。

```
cd [Redmine インストールパス]
```

2. 以下のコマンドを実行し、必要なライブラリのインストールを行います。

Linux の場合 :

```
sudo bundle config set --local without 'development test'  
sudo bundle install
```

Windows の場合 :

```
bundle config set --local without 'development test'  
bundle install
```

3. 続けて以下のコマンドを実行し、プラグインの DB とリソースファイルのセットアップを行います。

Linux の場合 :

```
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rake redmine:plugins RAILS_ENV=production
```

※実行した結果については一見すると成功したかどうか分からない場合もあるため、コマンド実行の出力結果をテキストファイルに保存しておくことを推奨します。トラブル発生時の調査に必要となります。

Redmine の再起動

Redmine を再起動します。これはインストール方法や OS によって異なります。例えば Windows で OS のサービスに Redmine を登録している場合は、Redmine サービスを再起動してください。Linux で Apache を経由して Redmine を起動している場合は Apache を再起動してください。

ライセンス登録

1. Redmine 管理権限でログインし、[管理]メニューをクリックします。
2. [Lychee Redmine ライセンス管理]をクリックします。
3. 利用規約が表示されるため、確認の上、[同意する]を選択してください。
4. 「**認証コード**」の入力画面が表示されるため、弊社よりご案内した「**認証コード**」を入力し、[ライセンスキーを登録]をクリックしてください。
5. 「ライセンス登録が完了しました」というメッセージが表示されれば、ライセンス登録は完了です。

※ライセンス登録が上手くいかない場合は本書の [GUI でライセンス認証が上手くいかない](#) を参照してください。

Lychee Redmine のインストール

Lychee Redmine の配置

入手した最新の Lychee Redmine を展開し、[Redmine インストールパス]/plugins 以下に配置します。

以下のプラグインについては関連するモジュールごとにフォルダが構成されており、フォルダ内にプラグインファイルが格納されています。それらのファイルについては「/plugins」ディレクトリに並列に配置しなければなりません。

- lgc
- levm
- lychee_basic
- lychee_ccpm
- lychee_time_management

例えば lychee_basic の場合、lychee_basic フォルダではなくフォルダ内にある lychee_checklist 等のフォルダを plugins 以下に配置する必要があります。

lychee_basic の配置例 :

```
<Redmine インストールパス>/plugins/alm
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_checklist
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_easy_assigned_user
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_help
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_form
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_spread_sheet
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_notification
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_profile_icon
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_dashboard
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_term
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_view
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_status_color
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_themes
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_version_start_date
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_workdays
```

(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更

1. 以下のコマンドを実行し、ファイル所有者を確認します。

```
ls -la [Redmine インストールパス]
```

2. 確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

インストールの実施

1. 以下のコマンドを実行し、Redmine のインストールパスに移動します。

```
cd [Redmine インストールパス]
```

2. 以下のコマンドを実行し、必要なライブラリのインストールを行います。

Linux の場合 :

```
sudo bundle config set --local without 'development test'
sudo bundle install
```

Windows の場合 :

```
bundle config set --local without 'development test'  
bundle install
```

3. 続けて以下のコマンドを実行し、プラグインの DB とリソースファイルのセットアップを行います。

Linux の場合 :

```
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rake redmine:plugins RAILS_ENV=production
```

※実行した結果については一見すると成功したかどうか分からない場合もあるため、コマンド実行の出力結果をテキストファイルに保存しておくことを推奨します。トラブル発生時の調査に必要となります。

(Linux のみ)ファイル所有者の再変更

バージョンアップ時に新規ファイルが作成されるケースがあるため、前述の手順で確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を再度変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

Redmine の再起動

Redmine を再起動します。これはインストール方法や OS によって異なります。例えば Windows で OS のサービスに Redmine を登録している場合は、Redmine サービスを再起動してください。Linux で Apache を経由して Redmine を起動している場合は Apache を再起動してください。

インストールの確認

インストールが完了したら Redmine にアクセスします。Redmine の[管理]メニューから[プラグイン]を開き、Lychee Redmine プラグインがインストールされているか確認します。

プラグイン

名称 / 説明	作成者	バージョン	
Agileware License Manager This is a plugin for Lychee Redmine License Management http://lychee-redmine.jp	Agileware Inc.	1.7.20	
Lychee Association Chart plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/association-chart	Agileware Inc.	1.6.12	
Lychee Actual Date plugin This is a plugin for Redmine. add actual date(start/due) pair http://lychee-redmine.jp/actual-date.html	Agileware Inc.	1.18.15	
Lychee EVM plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/evm	Agileware Inc.	3.2.20	設定
Lychee Gantt Chart plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart http://lychee-redmine.jp/gantt-chart.html	Agileware inc.	4.10.37	設定
Lychee Gantt Chart Pro plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart Pro http://lychee-redmine.jp/plugin/gantt-chart-pro.html	Agileware inc.	4.10.37	

インストール後の作業

インストールが完了しましたら、本書の「[5. インストール後の作業](#)」を参照の上、記載の手順を実施ください。

4. Lychee Redmine の評価版からの移行

ここでは Lychee Redmine の評価版からの移行手順を記載します。

評価版から製品版ライセンス(年間/買取)への移行の流れ

評価版から製品版ライセンス(年間/買取)への移行は、以下のように「評価版 Lychee Redmine のアンインストール」と「製品版 Lychee Redmine のインストール」の二段階に分けて行います。

1. 評価版 Lychee Redmine のアンインストール

製品版 Lychee Redmine で利用しないデータのアンインストール



評価版ライセンス情報の更新



評価版 rgloader・Lychee Redmine プラグインモジュールの移動(削除)

2. 製品版 Lychee Redmine のインストール

製品版 rgloader・Lychee Redmine プラグインモジュールの配置



インストールコマンドの実行



Redmine 再起動



インストール確認

評価版 Lychee Redmine のアンインストール

既に評価版を導入しているプラグインのうち、製品版ライセンスで継続して使用しないプラグインのデータを初期化する必要があります。

評価版は「ビジネス」プランに相当するため、ご契約されたプランが異なる場合は、以下を初期化する必要があります。

- ・ **ご契約がプレミアムプランの場合は以下を初期化**
 - ・ Lychee プロジェクトレポート
 - ・ Lychee カスタムフィールド

- Lychee チケット関連図
- Lychee グループの階層化
- Lychee 機械管理
- **ご契約がスタンダードプランの場合は以下を初期化**
 - Lychee 工数リソース管理(タイムマネジメント)
 - Lychee 工数リソース管理(リソースマネジメント)
 - Lychee EVM
 - Lychee コストマネジメント
 - Lychee プロジェクトレポート
 - Lychee カスタムフィールド
 - Lychee チケット関連図
 - Lychee グループの階層化
 - Lychee 機械管理

製品版ライセンスで継続して使用するプラグインに対してはコマンドを実行しないようお願いいたします。評価版で追加したデータが消去されてしまいます。

Lychee 工数リソース管理(タイムマネジメント)のデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate
NAME=lychee_time_management VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lychee_time_management VERSION=0
RAILS_ENV=production
```

Lychee 工数リソース管理(リソースマネジメント)のデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lrm VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lrm VERSION=0 RAILS_ENV=production
```

Lychee EVM のデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=levm VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=levm VERSION=0 RAILS_ENV=production
```

Lychee コストマネジメントのデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lychee_cost
```

```
VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lychee_cost VERSION=0
RAILS_ENV=production
```

Lychee プロジェクトレポートのデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate
NAME=lychee_project_report VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lychee_project_report VERSION=0
RAILS_ENV=production
```

Lychee カスタムフィールドのデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate
NAME=lychee_custom_field VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lychee_custom_field VERSION=0
RAILS_ENV=production
```

Lychee チケット関連図のデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lac VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=lac VERSION=0 RAILS_ENV=production
```

Lychee 機械管理のデータ初期化

Linux の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=
lychee_manufacturing VERSION=0
```

Windows の場合 :

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME= lychee_manufacturing VERSION=0
RAILS_ENV=production
```

評価版のライセンス認証情報の更新

以下の手順を実行してライセンス認証情報の更新を行ってください。

1. ターミナルまたはコマンドプロンプトを起動
2. rails コンソール起動

```
cd [Redmine ルートディレクトリ]
```

Linux の場合 :

```
sudo bundle exec rails c -e production
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rails c -e production
```

プロンプト (>) が表示されていることを確認してください。

※プロンプト表示例

```
2.1.1 :001>
```

3. 認証情報の削除

```
Registration.delete_all
```

4. 認証コード、登録コードの再認証

この手順は製品版のライセンスに更新するため、年間ライセンスのみで必要な手順となります。再認証は買取ライセンスでは**実施不要**です。認証コード、登録コードは「"」（ダブルコーテーション）で囲んでください。

```
registration = Registration.first_or_initialize
registration.authenticate_code = "認証コード"
registration.registration_code = "登録コード"
registration.save
```

5. プロンプトの終了

```
quit
```

全ての Lychee Redmine プラグインの移動

任意の退避用フォルダを作成して以下の2点を移動してください。

- [Redmine インストールパス]/rgloader
- [Redmine インストールパス]/plugins 以下のフォルダをすべて

移動した旧プラグインについては新プラグインに入れ替えが完了した後は利用しません。動作確認ができてから削除してください。

製品版 Lychee Redmine のインストール

rgloader の配置

入手した最新の rgloader.zip を展開し、[Redmine インストールパス]以下に配置します。[Redmine インストールパス]/rgloader 以下に loader.rb 等のファイルが展開されているのが正しい状態です。

Lychee Redmine の配置

入手した最新の Lychee Redmine を展開し、[Redmine インストールパス]/plugins 以下に配置します。

以下のプラグインについては関連するモジュールごとにフォルダが構成されており、フォルダ内にプラグインファイルが格納されています。それらのファイルについては「/plugins」ディレクトリに並列に配置しなければなりません。

- lgc
- levm
- lychee_basic
- lychee_ccpm
- lychee_time_management

例えば lychee_basic の場合、lychee_basic フォルダではなくフォルダ内にある lychee_checklist 等のフォルダを plugins 以下に配置する必要があります。

lychee_basic の配置例 :

```
<Redmine インストールパス>/plugins/alm
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_checklist
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_easy_assigned_user
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_help
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_form
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_spread_sheet
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_notification
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_profile_icon
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_dashboard
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_term
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_view
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_status_color
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_themes
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_version_start_date
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_workdays
```

(Linux のみ)ファイル所有者の確認と変更

1. 以下のコマンドを実行し、ファイル所有者を確認します。

```
ls -la [Redmine インストールパス]
```

2. 確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

インストールの実施

1. 以下のコマンドを実行し、Redmine のインストールパスに移動します。

```
cd [Redmine インストールパス]
```

2. 以下のコマンドを実行し、必要なライブラリのインストールを行います。

Linux の場合 :

```
sudo bundle config set --local without 'development test'
```

```
sudo bundle install
```

Windows の場合 :

```
bundle config set --local without 'development test'  
bundle install
```

3. 続けて以下のコマンドを実行し、プラグインの DB とリソースファイルのセットアップを行います。

Linux の場合 :

```
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rake redmine:plugins RAILS_ENV=production
```

※実行した結果については一見すると成功したかどうか分からない場合もあるため、コマンド実行の出力結果をテキストファイルに保存しておくことを推奨します。トラブル発生時の調査に必要となります。

(Linux のみ)ファイル所有者の再変更

バージョンアップ時に新規ファイルが作成されるケースがあるため、前述の手順で確認したファイル所有者に合わせて plugins 以下を再度変更します。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

Redmine の再起動

Redmine を再起動します。これはインストール方法や OS によって異なります。例えば Windows で OS のサービスに Redmine を登録している場合は、Redmine サービスを再起動してください。Linux で Apache を経由して Redmine を起動している場合は Apache を再起動してください。

インストールの確認

インストールが完了したら Redmine にアクセスします。Redmine の[管理]メニューから[プラグイン]を開き、最新の Lychee Redmine プラグインがインストールされているか確認します。

プラグイン

名称 / 説明	作成者	バージョン	
Agileware License Manager This is a plugin for Lychee Redmine License Management http://lychee-redmine.jp	Agileware Inc.	1.7.20	
Lychee Association Chart plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/association-chart	Agileware Inc.	1.6.12	
Lychee Actual Date plugin This is a plugin for Redmine. add actual date(start/due) pair http://lychee-redmine.jp/actual-date.html	Agileware Inc.	1.18.15	
Lychee EVM plugin This is a plugin for Redmine https://lychee-redmine.jp/plugin/evm	Agileware Inc.	3.2.20	設定
Lychee Gantt Chart plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart http://lychee-redmine.jp/gantt-chart.html	Agileware inc.	4.10.37	設定
Lychee Gantt Chart Pro plugin This is a plugin for Redmine Gantt Chart	Agileware inc.	4.10.37	

インストール後の作業

インストールが完了しましたら、本書の「5. インストール後の作業」を参照の上、記載の手順を実施ください。

5. インストール後の作業

インストール後に必要となる作業を記載しています。インストールが終わったら必ず実行してください。

Lychee ガントチャート チケットステータスの表示色設定

1. 以下のコマンドを実行し、Redmine のインストールパスに移動します。

```
cd [Redmine インストールパス]
```

2. 以下のコマンドを実行し、Lychee ガントチャート チケットステータスの表示色設定を行います。

Linux の場合 :

```
sudo RAILS_ENV=production bundle exec rake  
redmine:plugins:lychee_status_color:set_default_status_colors
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_status_color:set_default_status_colors  
RAILS_ENV=production
```

Lychee IssueForm チケット更新時のメール通知設定

IssueForm でチケットを更新した場合、更新内容はそのままではメール通知されません。更新内容がメール通知されるように、cron やタスク スケジューラに設定してください。長い時間間隔に設定すると、更新をしてもメールがすぐに来ない、または沢山の更新内容が一度のメールで来てしまい更新確認が辛い恐れがあるため、**5 分毎**などに実行することをおすすめします。なお、定期実行時に更新内容が複数ある場合は、チケットごとに複数の内容がメール本文にまとめて通知されます。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_issueform_update を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
*/5 * * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake  
redmine:plugins:lychee_issue_form:send_notification_for_journals
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、5 分毎に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off  
set local  
  
cd [Redmine インストールパス]  
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_issue_form:send_notification_for_journals  
RAILS_ENV=production
```

Lychee EVM スナップショット作成 (ビジネス/プレミアムの方のみ)

Lychee EVM ではスナップショットを取得しておくことで、現在と過去の状況を比較できます。スナップショット機能を有効にする場合は、下記のコマンドを実行するように cron やタスク スケジューラに設定してください。業務に影響がおよばないよう、**1 日 1 回以下 かつ 深夜** に実行することをおすすめします。プロジェクト数やスナップショットを保存する頻度によっては、データベースの容量が大きくなるのでご注意ください。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_evm_mkssnap を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
30 0 * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:levm:snapshot:fixed
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、毎日深夜 0:30 に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off
set local
```

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:levm:snapshot:fixed RAILS_ENV=production
```

Lychee CCPM フィーバーチャートの期日の自動更新の設定 (ビジネス/プレミアムの方のみ)

Lychee CCPM では残工数からチケットの期日を自動で更新することができます。自動更新するには、以下の設定が必要です。システム管理者でログインし、該当のプロジェクト > 設定 > CCPM タブ の「バッチ処理で残工数からチケットの期日を自動更新する」にチェックが必要です。

タスク設定

バッチ処理で残工数からチケットの期日を自動更新する

保存

また、以下のコマンドを**毎日 1 回**実行するよう、cron やタスク スケジューラに設定してください。業務に影響がおよばないよう、**深夜** に実行することをおすすめします。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_ccpm_chart_due を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
30 0 * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:lychee_ccpm:calculate_due_date_for_issues
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、毎日深夜 0:30 に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off
set local
```

```
cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_ccpm:calculate_due_date_for_issues
RAILS_ENV=production
```

Lychee CCPM フィーバーチャートの描画データの生成設定 (ビジネス/プレミアムの方のみ)

Lychee CCPM ではフィーバーチャートを描画するために以下の設定が必要です。フィーバーチャートに必要な集計データを生成するため、以下のコマンドを**毎日 1 回**実行するよう、cron タスクとして設定してください。業務に影響がおよばないよう、**深夜** に実行することをおすすめします。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_ccpm_chart_drawing を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
30 0 * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:lychee_ccpm:aggregate_consumption_rates
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、毎日深夜 0:30 に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off
set local

cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_ccpm:aggregate_consumption_rates
RAILS_ENV=production
```

Lychee タイムマネジメント 予定の実績変換方法 (ビジネス/プレミアムの方のみ)

Lychee タイムマネジメントの表示形式について、表形式とカレンダー形式の 2 種類があります。デフォルトでは表形式ですが、もしカレンダー形式を選択した場合には以下の設定が必要です。

入力された作業予定を作業実績に変換するため、以下のコマンドを**毎時間 1 回**実行するよう、cron やタスク スケジューラで設定してください。設定中のタイムゾーンにより、コマンドが実行された時刻が深夜 0 時台となるユーザーの作業予定が作業実績に変換されます。ユーザーのタイムゾーンが未設定の場合、Redmine が動作しているタイムゾーンが設定されているものとして扱われます。サーバーの時計の時刻が実際の時刻とずれてしまう可能性を考え、毎時 0 分ではなく、**毎時 5 分**などに実行することをおすすめします。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_time_management_work_plans_to_time_entries を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
5 * * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake redmine:plugins:lychee_time_management:work_plans_to_time_entries
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、毎時 5 分に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off
set local

cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_time_management:work_plans_to_time_entries
RAILS_ENV=production
```

Lychee プロジェクトレポート 集計データの生成設定 (ビジネスの方のみ)

プロジェクトレポートを生成する前に以下の設定が必要です。集計タスクの登録レポートに必要な集計データを生成するため、以下のコマンドを**毎日 1 回**実行するよう、cron やタスク スケジューラに設定してください。業務に影響がおよばないよう、**深夜**に実行することをおすすめします。

Linux の設定例 :

/etc/cron.d/lychee_project_report_data を任意のエディターで開き以下を記述して保存します。

```
30 0 * * * root cd [Redmine インストールパス] ; RAILS_ENV=production bundle exec rake
redmine:plugins:lychee_project_report:daily_reporting
```

Windows の設定例 :

以下を記述した bat ファイルを作成し、毎日深夜 0:30 に実行するようにタスク スケジューラを設定します。

```
@echo off
set local

cd [Redmine インストールパス]
bundle exec rake redmine:plugins:lychee_project_report:daily_reporting
RAILS_ENV=production
```

6. トラブルが発生した場合

Lychee Redmine をインストールした後に、Redmine が起動できない、Redmine にアクセスできない、等のトラブルが発生した場合はこちらをご確認ください。

問題があった際にまず確認すべきこと

Lychee Redmine をインストール後にエラー等が発生した場合、まず以下の項目について問題ないかを確認してください。

Lychee Redmine のプラグインファイルが正しく（入れ子構造ではなく）配置されていますか？

今一度、Lychee Redmine プラグインのフォルダ構成に誤りがないかご確認ください。詳細は以下をご参照ください。

以下のプラグインについては関連するモジュールごとにフォルダが構成されており、フォルダ内にプラグインファイルが格納されています。それらのファイルについては「/plugins」ディレクトリに並列に配置しなければなりません。

- lgc
- levm
- lychee_basic
- lychee_ccpm
- lychee_time_management

例えば lychee_basic の場合、lychee_basic フォルダではなくフォルダ内にある lychee_checklist 等のフォルダを plugins 以下に配置する必要があります。

lychee_basic の配置例：

```
<Redmine インストールパス>/plugins/alm
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_checklist
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_easy_assigned_user
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_help
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_form
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_issue_spread_sheet
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_notification
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_profile_icon
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_dashboard
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_term
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_project_view
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_status_color
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_themes
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_version_start_date
<Redmine インストールパス>/plugins/lychee_workdays
```

Redmine のバージョンは Lychee Redmine が対応しているバージョンですか？

以下ページの「Redmine / Ruby のバージョン」を参照の上、Lychee Redmine が対応している Redmine のバージョンをインストールしてください。

<https://lychee-redmine.jp/environment/>

トラブルシューティング

Windows 環境でインストール実行中に警告が表示される

Q. Lychee Redmine インストール中に以下のような警告メッセージが表示される。

情報: 与えられたパターンのファイルが見つかりませんでした。

```
which: no wkhtmltopdf in (.;C:/redmine/ruby/lib/ruby/gems/2.2.0/bin;C:\redmine\imagemagick;
```

A. wkhtmltopdf をインストーラーを用いてインストールする必要があります。

Lychee チケット関連図(以下、チケット関連図)では、PDF を出力するために wkhtmltopdf を使用しています。Windows 以外の OS では、チケット関連図をインストールする際に自動的に wkhtmltopdf もインストールされます。しかし、Windows の場合はインストーラーを使ってインストールする必要があります。以下の手順を実行してください。

1. 以下のサイトからインストーラーをダウンロードしてください。

<http://wkhtmltopdf.org/downloads.html>

インストール先の Windows の bit 数(64bit/32bit)に注意して、適切なインストーラーをダウンロードしてください。

2. ダウンロードしたインストーラーに従ってインストールを行います。インストールパスに空白が含まれない場所を指定するように注意してください。

3. 環境変数の追加を行います。

(1) スタートメニュー > コントロールパネル > システムとセキュリティ > システム > システムの詳細設定 から[システムのプロパティ]を開き、[詳細設定]タブを表示します。

(2) [環境変数]ボタンをクリックしてください。

(3) [システム環境変数]の[新規]ボタンをクリックしてください

(4) 以下を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

変数名: wkhtmltopdf

変数値: wkhtmltopdf のインストール場所

例) C:¥wkthmltox¥bin

(5) [システム環境変数]の「Path」を選択し、[編集]ボタンをクリックしてください

(6) [変数値]の末尾に以下を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください

;%wkhtmltopdf%

※先頭の「;」を忘れずに！

(7) [OK]ボタンをクリックして閉じてください。

(8) [システムのプロパティ]ダイアログにて[OK]ボタンをクリックして閉じてください。

4. Redmine を再起動してください。

Linux 環境で Permission denied エラーが発生する

Q. Lychee Redmine インストール後に Redmine が起動せず、Apache のエラーログを確認すると以下のようなメッセージが記録されている。

```
The application encountered the following error: Permission denied @ rb_sysopen - [ファイル名] (Errno::EACCES)
```

A. Lychee Redmine インストール実施の際に新規にファイルが作成されるため、そのファイルに対して再度の権限付与が必要です。

以下のコマンドを実行してください。

```
sudo chown -R [ユーザー名] : [グループ名] [Redmine インストールパス]/plugins
```

GUI でライセンス認証が上手くいかない

Q. GUI でライセンス認証した際に、以下のメッセージが表示される。

ライセンス登録に失敗しました。プロキシ設定等を確認してください。

※ Lychee Redmine 評価版はライセンス認証時にネットワーク接続(HTTPS)を行います。

外部にアクセスできない環境でライセンス認証を行うには登録コードの手動発行と登録が必要になります。

お手数ではございますがご購入先までお問い合わせください。

A. 認証コードおよび登録コードの設定を確認してください。

以下の手順をお試ください。

1. ターミナルまたはコマンドプロンプトを起動
2. rails コンソール起動

```
cd [Redmine ルートディレクトリ]
```

Linux の場合 :

```
sudo bundle exec rails c -e production
```

Windows の場合 :

```
bundle exec rails c -e production
```

プロンプト (>) が表示されていることを確認してください。

※プロンプト表示例

```
2.1.1 :001>
```

3. 認証情報の削除

```
Registration.delete_all
```

4. 認証コード、登録コードの再認証

認証コード、登録コードは「"」(ダブルコーテーション) で囲んでください。

```
registration = Registration.first_or_initialize
registration.authenticate_code = "認証コード"
registration.registration_code = "登録コード"
registration.save
```

5. プロンプトの終了

```
quit
```

6. Redmine の再起動

解決しない場合

以下の情報を沿えて弊社のサポート窓口までご連絡ください。

- Redmine のバージョン
- Ruby のバージョン
- 利用している OS とそのバージョン
- 利用している Lychee Redmine 以外のプラグインがある場合は、名称とバージョン
例 : Redmine Work Time plugin (0.4.1)
- バージョンアップ時のコマンド実行結果
- Redmine 関連のログファイル
例 : [Redmine インストールパス]/log 以下のログ

以上